

Prologue

オカンは坂の街で育った。坂道の途中には坂を上り下りする人々に休憩して貰う為、誰かが置いたバンコ（ベンチの原語）に腰掛けていっづく、時々バンコの下には猫が休んでいて慌てて逃げ出すと語る。大変な坂の街での暮らしはボク知らない、でも、そんなほのぼのとした情景にボクは憧れる。

Concept

大げさな休憩所はいらない、設置する場所もない。急な夕立の雨宿りや日除けになるスペースと腰掛けがあればいい、旧家の軒先の下のような・・・。坂の街には高い擁壁がある、しかも傾斜が付いている側溝との間に設けられないだろうか？もちろん私有地である事が多い善意ある所有者が提供して頂けないだろうか？

長崎総合科学大学
第26回全国高校生設計アイデアコンテスト「坂道の休憩所」

Element

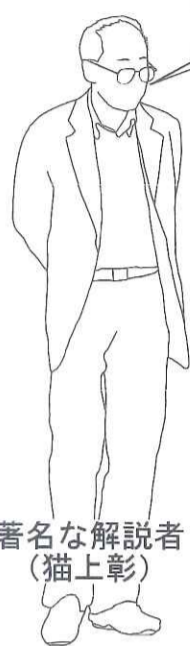
さかみちで
ほっと、一息。
～猫とボクと、時々オカン～



擁壁を活用した居住者の為の
新たな休憩スペース

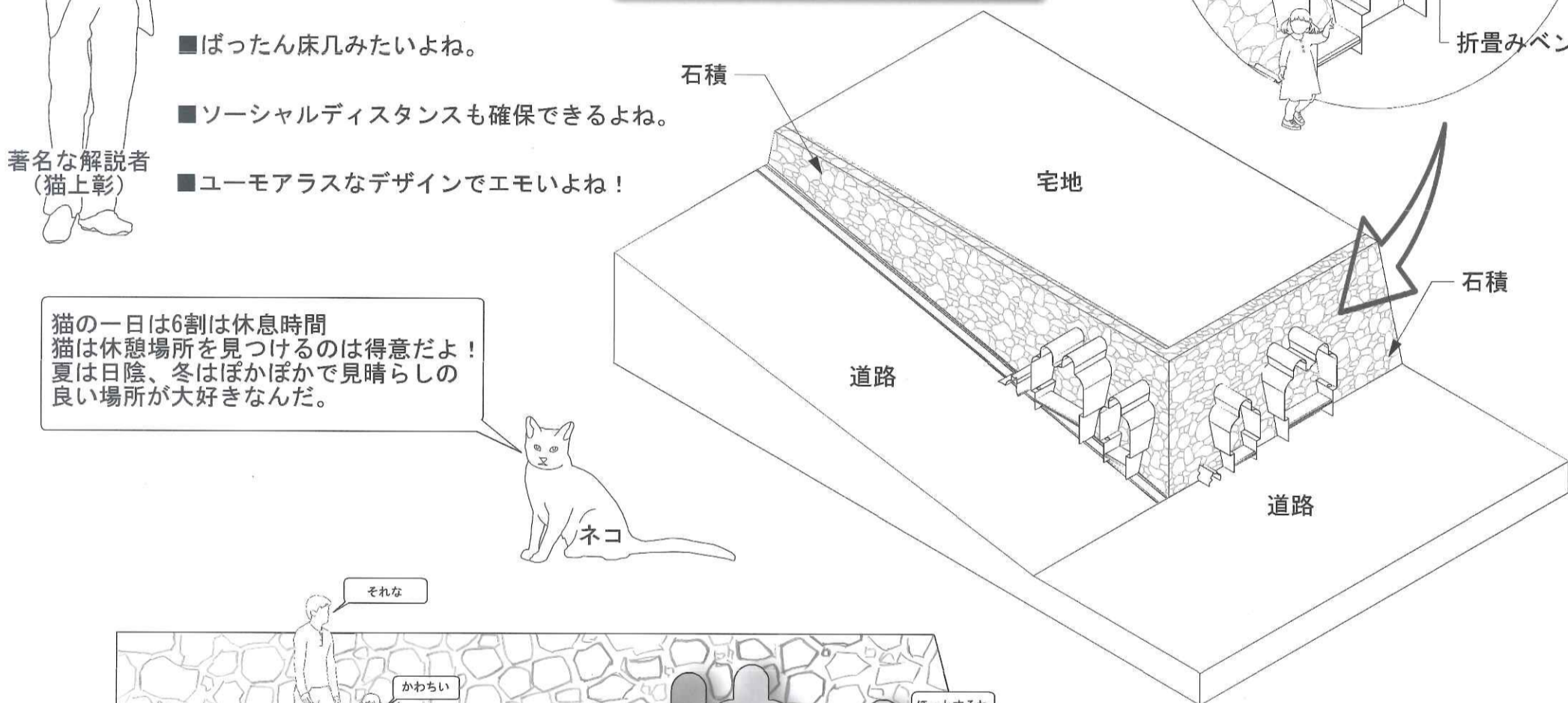
- タイパ最高！ちょっと座れるよね。
- ばったん床几みたいよね。
- ソーシャルディスタンスも確保できるよね。
- ユーモアラスなデザインでエモいよね！

著名な解説者
(猫上彰)

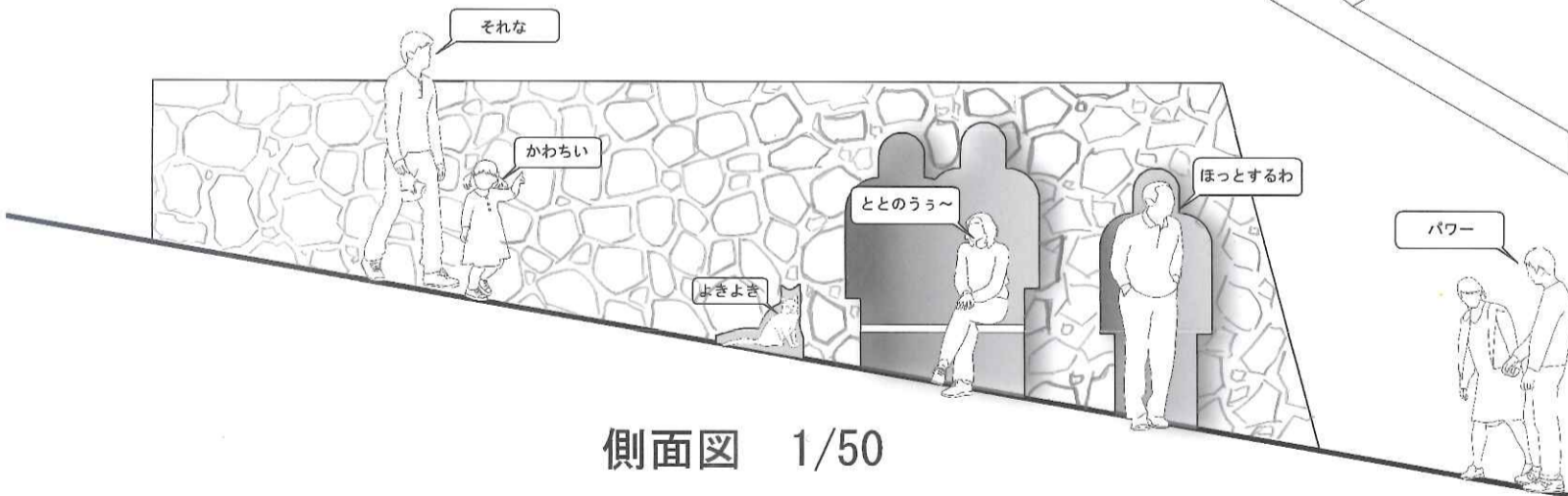


そうだったのか！！

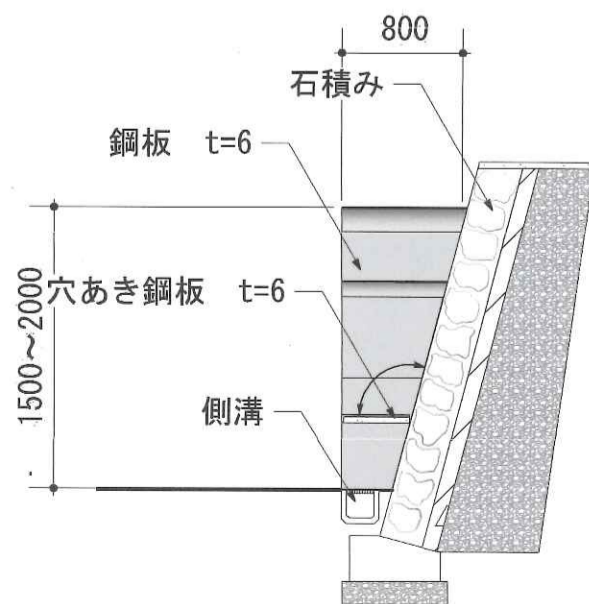
猫の一日は6割は休息时间
猫は休憩場所を見つけるのは得意だよ！
夏は日陰、冬はぼかぼかで見晴らしの
良い場所が大好きなんだ。



側面図 1/50



正面図 1/50



断面図 1/50